

令和 7 年度（2025 年度）
アクセラレーター等への知財専門家の短期派遣プログラムに係る
派遣先アクセラレーター募集要領

令和 7 年 5 月 30 日
ベンチャーキャピタルへの知財専門家派遣プログラム（VC-IPAS）事務局
（委託元 特許庁）

1. はじめに（本プログラムの概要）

本プログラムは、スタートアップを支援（投資・経営支援等）するアクセラレーター等のスタートアップ支援機関へ弁理士・弁護士といった知的財産の専門家（以下「知財専門家」という。）を派遣し、投資前及び投資後のスタートアップに対して事業戦略に連動した知財戦略構築等の支援を行うことにより、スタートアップの成長を加速させるプログラムです。また、当該取組みを通じてアクセラレーター等が知財専門家と協働することによって、アクセラレーター等の知財リテラシー・知財活用実務能力の向上も目指します。

スタートアップにおける知的財産の保護・活用の重要性が高まっている昨今、アクセラレーター等においてもスタートアップの知的財産を考慮した投資価値判断や知財専門家と連携した成長支援等を繰り広げることで、リスクを減少させ、スタートアップの成長を後押しすることが求められています。

上記の背景・外部環境のなか、昨年度の「ベンチャーキャピタルへの知財専門家派遣プログラム（VC-IPAS）」事業を通して実施した調査により、スタートアップエコシステムにおいて「ベンチャーキャピタルのみならず、アクセラレーターを通じたスタートアップへの知財支援も有効であること」が確認できました。

そこで、本年度は、積極的にスタートアップへの成長支援を実施するアクセラレーターにも知財専門家を派遣し、より効率的・効果的なスタートアップへの知財面での成長支援策を提供いたします。具体的にはアクセラレーターが実施しているアクセラレーションプログラムへ知財支援コンテンツを導入することで、プログラムに参加するスタートアップの知財面での成長を促進することを想定しています。

2. プログラム内容

派遣された専門家による支援内容、支援内容に含まれない業務は以下の通りです。

① 派遣された専門家による支援内容

本事業では、知財専門家を派遣しアクセラレーターのアクセラレーションプログラムへ知財支援コンテンツを導入することでスタートアップへの知財支援を行います。導入対象となるプログラムは複数プログラムも可能です。（導入方法は事務局や特許庁と協議）

下記の知財支援コンテンツは一例であり、これ以外にもアクセラレーターが必要と考える知財支援コンテンツがありましたら、適宜事務局や特許庁と協議の上、実施可能です。

<知財支援コンテンツ 例>

A) 知財セミナー

アクセラレータープログラム等においてスタートアップ向けに知財関連セミナーを実施（セミナーのトピックは事務局や特許庁と協議）

B) 知財相談窓口の設置

アクセラレーターに採択しているスタートアップ等が知財専門家に相談可能な仕組みを提供

<例>

- Aの知財セミナー開催後、1週間いつでも相談可能な窓口の設置
- 自社が運営するインキュベーション施設へ知財専門家が1日常駐

C) スタートアップへの専門家派遣

i. 知財実務スポット支援

スタートアップの知財実務の課題（出願前の先行技術調査、権利範囲・権利帰属の確認、中間対応の方針相談、知財関連契約の相談など）を知財専門家がスポットで支援

*2-3回のミーティングを想定

ii. 知財戦略スポット支援

スタートアップの知財戦略に関する課題（海外展開、知財戦略立案など）を知財専門家がスポットで支援

*2-3回のミーティングを想定

iii. 短期間集中支援

スタートアップへ知財専門家を一定期間派遣することで知財実務・戦略等を集中的に支援

例①：スタートアップの事業と保有する権利の紐づけを実施することで、権利保護が必要な領域を特定し、今後の出願戦略を策定

例②：競合他社の特許出願動向との比較分析を実施することで、今後スタートアップが強化していくべき研究開発方針、特許出願動向の示唆の導出

例③：コア技術の類似技術などの特許出願トレンドを分析（IP ランドスケープ）

することで、スタートアップが保有するコア技術を用いた新規事業テーマを探索
例④：特許を起点とした技術トレンド分析を実施することで、協創パートナー候補を探索

例⑤：スタートアップの強みの特定（基本特許（バックグラウンド特許など）の保有など）により、アライアンスにおける交渉優位性の獲得/維持に向けたオープンイノベーション/アライアンス戦略の検討 など

*1-2 か月派遣することで課題の洗い出しから対応まで支援する想定

② 派遣された専門家の支援内容に含まれない業務

本プログラムにおける専門家の支援内容には、明細書作成、出願書類作成、拒絶理由通知対応、補正案作成、契約書作成、侵害訴訟対応、契約交渉への同席などの弁理士や弁護士などが行う書面作成等に関する業務は含まれません。

3. 派遣までの期間・知財支援コンテンツの決定方法

- 採択された場合、応募から1カ月前後で専門家派遣を開始いたします。
- 知財支援コンテンツは応募後に応募者、事務局、特許庁が協議のうえ決定いたします。

4. 応募資格・遵守事項

① 応募資格

本プログラムでは、以下の要件を全て満たすアクセラレーターが募集対象です。

- (1) 日本国内に法人格を有すること
- (2) 反社会的勢力またはそれに関わるものとの関与がないこと
- (3) 9. 選考の要件の「必須要件」を満たすこと

② 遵守事項

専門家の派遣に際し、派遣先アクセラレーターは、以下の事項をご了承ください。

派遣協定の締結	<ul style="list-style-type: none">● 専門家の受け入れに関する協定書を事務局と締結すること※ 協定書は機密保持や損害賠償・免責などの内容を含む
支援への同席・活動状況把握への協力	<ul style="list-style-type: none">● 事務局による本プログラムの活動状況把握のため、専門家の活動状況や活動成果に関する情報を収集・管理し、事務局の求めに応じて提供すること● 専門家が事務局に提出する書類について、派遣先アクセラレーターの担当者が確認すること

* 上記応募資格・遵守事項について、専門家の派遣期間中に充足していないことが認められれば、専門家の派遣を中止することがあります。

5. 応募期間

期間	2025 年 5 月 30 日（金） から 2025 年 12 月 26 日（金） まで *注
----	---

*注 募集枠が埋まったタイミングで募集を締め切ります。

6. 審査スケジュール（予定）

スケジュールは状況に応じて多少前後することがございますので、あらかじめご了承ください。

応募から 3 営業日程度	応募フォームによる書類審査
書類審査から 1 週間程度	ヒアリング審査 (原則オンラインで 30 分程度を想定/別途ご案内します)
ヒアリング審査から 1~2 週間程度	採択可否・支援内容・フォローアップ内容の検討、結果通知

7. 応募方法

特許庁ウェブサイトに掲載される応募フォームをダウンロードし、必要事項をご記入の上、応募期間内に「11.問い合わせ先」に記載するメールアドレスまで**メール**で提出してください。郵送・FAX では応募を受け付けておりません。

【応募メール】

件名：【アクセラレーターへの知財専門家派遣プログラム_応募】 + 企業名

容量：補足資料を含め 8MB を超えないようにご配慮ください。補足資料はなるべく PDF 形式としてください。

【提出書類】

提出書類	補足
(必須提出) 応募フォーム (Excel 形式)	<ul style="list-style-type: none">・ 必要事項をご記入ください。・ ファイル名は「アクセラレーターへの知財専門家派遣プログラム_応募フォーム (企業名)」に変更してください。
(任意提出) 補足資料 (PDF 形式)	補足資料例 <ul style="list-style-type: none">・ 会社概要・ アクセラレーションプログラム概要 等

* 応募フォーム等のダウンロードはこちらから

特許庁ウェブサイト：

8. 支援スケジュール

採択・支援方針決定後～	支援ニーズに合わせて随時実施
-------------	----------------

9. 選考の要件

下記の要件に基づいて派遣先アクセラレーターを選考します。

- 必須要件：VC-IPAS に参加いただくにあたって、原則満たしていただきたい事項をクリアできているか
 1. 実務担当者が複数人参加しており、かつ窓口担当が明確になっており、プログラムへの協力・受入態勢が整っているか
【応募フォーム 4 で確認】
 2. 実施中のアクセラレーションプログラムへ知財コンテンツの導入を希望する場合、対象となるアクセラレーションプログラムが支援期間中であること。
なお、他者（国・自治体など）から受託して実施するアクセラレーションプログラムの場合、支援開始までに応募者自身で委託者への説明・承諾を得ること。
【応募フォーム 3-4 で確認】
 3. ビジネスの中核となるコア技術になりうる技術シーズを有しているスタートアップ等が支援対象に含まれること。
【応募フォーム 1.基礎情報で確認】
- 追加要件：スタートアップへの知財支援に係る AsIs-ToBe とその内容に基づいて希望する支援が明確であり、VC-IPAS が支援対象としたいスタートアップの支援を行っているか
 1. アクセラレーターにおける知財面での課題（現状）と課題解決によって目指したい将来像が明確である。特に、支援終了後もアクセラレーションプログラムへ知財支援コンテンツを導入する意向を有する。
【応募フォーム 3-2 で確認】
 2. 国内のみならず海外における製品・サービスのローンチを目指した支援を行うアクセラレーションプログラムを一定数実施した経験を有する。
【応募フォーム 1 で確認】

10. 留意事項

- (1) お申込みいただきました個人情報（ご氏名、ご連絡先などの入力いただいた全項目）は、事務局（有限責任監査法人トーマツ）が参加申込の管理および当イベントに関するご案内に利用します。提供された個人情報は、当プログラムの主催団体、事務局である特許庁、有限責任監査法人トーマツ及び同社のグループ会社に提供され、無断でその他の第三者に提供することはございません。個人情報の利用目的および取り扱いについては、下記プライバシーポリシー等をご参照ください。

<特許庁 プライバシーポリシー>

https://www.jpo.go.jp/toppage/privacy/privacy_list.html

<有限責任監査法人トーマツ プライバシーポリシー>

https://www2.deloitte.com/jp/ja/footerlinks1/privacy.html?icid=bottom_privacy

なお、応募時に承諾頂いた場合には、特許庁及び工業所有権情報・研修館（INPIT）のスタートアップ支援事業に関連するご案内を行う目的で、提供頂いた氏名・ご連絡先を INPIT、及びスタートアップ支援事業の事業者提供させていただきます。

- (2) 応募・支援に当たってご提供いただく個人情報や機密を含む情報は、守秘義務を有する特許庁、事務局、専門家、及び外部審査委員に本プログラム実施に当たって必要な範囲で共有、利用されます。個人情報や機密を含む情報は事前の承認なく特許庁、事務局、専門家、及び外部審査委員以外の第三者に提供することはありません。
- (3) 以下の場合には、審査対象外とさせていただく場合がございますのであらかじめご了承ください。
 - (ア) 応募者が、法令等もしくは公序良俗に違反し、又はそのおそれのある場合
 - (イ) 応募内容に不備がある場合
 - (ウ) 応募者が、応募に際して虚偽の情報を記載し、その他特許庁及び事務局に対して虚偽の申告を行った場合
- (4) 審査経過・審査結果等に関する問い合わせには応じられません。
- (5) 本プログラムの支援にあたっては、専門家の求めに応じてアクセラレーターの機密情報を提供いただくことがあります。機密情報については、特許庁、事務局、及び専門家は守秘義務を有しており、適切に取り扱います。
- (6) 本プログラムの内容・結果のうち機密情報に関わらない公表可能な部分については、普及啓発のため、原則特許庁により公表される予定ですのであらかじめご了承ください。
- (7) 専門家の支援に契約上又は法的な守秘義務を負う特許庁・事務局が同席させていただきますので、あらかじめご了承ください。
- (8) 本プログラムの成果把握のため、本プログラムでの支援に直接的・間接的に起因して生じた成果等について収集・管理し、特許庁・事務局の求めに応じて提供いただきますので、あらかじめご了承ください。また、支援期間中に活動状況を確認する共有セッションを設けた場合には、ご参加ください。
- (9) 専門家による支援に当たり、原則料金等は発生しません。
- (10) 特許及び商標、意匠、実用新案登録出願における明細書作成等の一連の事務や、契約書の作成、侵害訴訟対応、契約交渉への同席などは本プログラムの支援内容に含まれません。

11. 問い合わせ先

本公募に関するお問合せは、下記までお願いします。

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 3-2-3 丸の内二重橋ビルディング

ベンチャーキャピタルへの知財専門家派遣プログラム（VC-IPAS）事務局
（有限責任監査法人トーマツ内）

担当：福井 裕明、網中 裕一、相本 智美、川上 晴紀

TEL 03 - 6213 - 1251

メール vcipas-office@tohmatu.co.jp